（別紙７）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	保育所等訪問支援ベビーノ

公表日　2026年　3月　25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5	0	保育所訪問のため教具教材は基本支援先のものを使用している。	保育所等施設で取り入れやすいように基本は施設の物品を使用し、必要時は保護者の方と相談して他の取入れを行っている。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	必要に応じて他職種での訪問を実施している。	現在は不足ないが、必要時は他施設との連携を行う。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。	5	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	不明なため。	第三者による外部評価の取入れは今後検討を行う。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	年に数回の勉強会開催や学会・研修会への参加の推奨	
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0		

適切な支援の提供	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	5	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5	0		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	・インフォーマルなアセスメントを中心に実施している。 ・フォーマルなアセスメントに関しては他機関で実施したものを共有させていただいている場合もある。 ・個別性の高さから、インフォーマルな評価を中心としている。フォーマルなアセスメントの導入は要検討か。	・インフォーマルなアセスメントと他機関からの情報収集で現状は対応しており継続。 ・直接的なフォーマルなアセスメントの取入れは必要時検討を行う。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	事前打ち合わせは行っているが、記録として残すルールはない。	事前の打ち合わせは行っており継続。特記事項の記録は行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	4	1	事後の話し合いは行っているが、記録として残すルールはない。	終了後の共有や振り返りは行っており継続。特記事項の記録は行う。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5	0		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	・担当者会議は開催されなかった。 ・事業所内に相談支援を兼ねている利用者さんもいるため連携しやすい面もある。	会議に際しては、状況を良く理解した担当者を参画している。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	訪問看護ステーションと併設のため、行政や医療とは連携がとりやすい。事業所全体では特別支援学校の見学や勉強会などを行なっている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	就園就学移行をしたことはない。	移行の際は情報共有等を行っており継続。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0	特別支援学校の学校公開への参加や地域の児童発達支援への見学をしている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	2	・管理者が参加して内容は共有を行なっている。 ・回答者、把握しておらず。	管理者が参加し職員間での情報共有を行っており継続。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	訪問看護ステーションと併設のため、日頃から保護者と情報共有しやすい。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		全体としては今年度はきょうだい児支援についてのイベント共有等を行った。今後も必要に応じて個別や全体に情報の提供を行う。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0	パンフレットを作成し、説明配布している。	開始時にパンフレットと口頭で事業について説明を行い、支援目的等は必要にあわせて繰り返し意思疎通をおこないながら進めており継続。

保護者等への説明等	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	5	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	0	訪問看護ステーション併設のため日頃から他職種でご家族から話を聞くチャンスがある	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	・主体の訪問看護ステーション事業所の中で行なっている。 ・事業所全体で年2回イベントを企画し、保護者、兄弟の交流を図っている。 ・年に数回、イベントを開催している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	子どもからの相談や申し入れについてどのような手段があるのかは把握できていない。	こどもからの相談等に関しては、対象者が乳幼児のため、日頃のご様子を観察し周囲の支援者が子の希望を拾い上げ対応しており継続。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		定期的な通信等は行っていないが、必要時HPやSNS,LINE等の活用で情報発信を行っている。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
訪問先施	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0	保育所の状況に合わせて実施している。	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	災害について、BCPに基づいたマニュアル策定や訓練が行われている。防犯等は把握しておらず。	マニュアルを職員や家族等が周知しやすいよう検討中。事故防止や緊急時対応は個別での情報共有は行っており継続。災害時の訓練も継続。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	保育所の災害対策の確認は実施している	個別では具体的内容を想定し、家族や施設、職員間で共有しており継続。全体の研修や訓練は今後検討する。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2	・座位保持装置の使用や装具の使用について個別支援計画書に記載はされていない。 ・不明なため。 ・回答者、把握できておらず	来年度から全体的に取入れる。